

1~3面 全国会員総会 礼拝メッセージ

4~5面 世界に広がるYWCA

6面 スコットランドYWCAの新ブランド

7面 沖縄のリアル

The Young Women's Christian Association YWCA

(第32総会期主題聖句)
平和を実現する人々は幸いである
—マタイによる福音書5章9節—

(日本YWCAの使命(ミッション))
イエス・キリストに学び、共に生きる世界を実現する
世界の人々と共に人権・平和・環境の問題に取り組む

(日本YWCAのビジョン)
地域で女性達が主体的に活動することを通して、
以下の社会をめざします。
(1) 平和憲法が生かされ、核も暴力もない社会
(2) 女性と子どもの尊厳を守る社会
(3) 若い女性がリーダーシップを発揮する社会
(4) 多世代・多文化で多様な背景を
持つ人びとを尊重する社会

4

APRIL 2017

No.737

www.ywca.or.jp

私
は

e g o e i m i



こ
こ
に
い
ま
す

日本YWCAの第32総会期の活動の主題は「平和を実現する人々は幸いである」(マタイによる福音書5章9節)です。このみ言葉は、1905年に日本YWCAがその歩みをはじめて以来、今日に至るまで一貫して守

況にあっても、日本国憲法の精神を生かし、平和を希求していくことが宣言されました。1955年に開かれた世界YWCA総会は「平和に関する声明」を採択し、YWCAが世界平和に対して取るべき責任を明らかにしました。それを受けて3年後に開催された「平和に関する国際セミナー」に参加した日本YWCAの

白石つぎさんは、世界のYWCA代表に向かってこのように語られました。「平和とは、戦争がない状態のことではありません。人権宣言が世界中で守られて、初めて世界に、本当の意味での平和が実現されるのです。」

人間の尊厳が守られて
本当の平和が実現する



立教大学大学院
キリスト教学研究科教授、
聖公会司祭

西原廉太
Renta Nishihara

り抜いてきたキリスト教
基盤の根幹を支えるものであった、と言っても過言ではありません。
戦後1950年に御殿場で開催された全国総会では、どのような時代状況

本場の平和とは、一人ひとりの人間としての尊厳が守られるときに、初めて実現するものである。この重要なテーマこそが、日本のYWCAが1世紀以上守り抜き、これからも決して揺るがすことのない「平和を実現する者となる」ことの本質的な意味なのではないでしょうか。

エンパワーするNGO



ご協力ありがとうございます

- 賛助費 飯橋俊子 三股まさ子 小林多美 岩崎妙子 大見川昭子 阿部幸子 大野綾子 武井多佳子 皆川悦子 加納美津子 帆足嘉代子
- ピースメーカーズ基金(平和を創り出す女性のリーダーシップ養成) 出づ女性リーダーシップ養成)
- 八木達郎 池田久美子 前島恵 後藤光彦 佐々木紀久江 大山恵子 志村弘子 佐藤百合子 田中洋子 西原康太 兼子佐与子 福岡女子院中学校・高等学校 福岡女子院中学校・高等学校 活水中学校・高等学校 宗教部 女子学院 宗教部 沖縄キリスト教学院

- ブル学院中学校・高等学校 横浜共立学園中学校・高等学校 日本聖公会東京教区阿佐ヶ谷聖ペテロ教会 日本聖公会東京教区一粒の麦の会 福島YWCA 公益財団法人神戸YWCA 長崎YWCA
- 災害時支援募金 (国内外の災害被災者支援) 外山真理 三股まさ子 福島YWCA 公益財団法人神戸YWCA 一般財団法人呉YWCA
- (オリブの木キャンぺン募金) 戸田照枝 東生野 三股まさ子 吉野恵子 青木恵子 和田崇子 河村双葉 古川道子 阿部幸子 難波郁江 鈴木ナカ 関むつみ 外山真理 木村浩子 中村由里 鎌原恵子 富岡美知子 添野かみ子 吉高叶 吉高路 有田楠幸子 泉谷五十鈴

- 大阪YWCA大宮保育園 美唄めぐみ幼稚園 日本キリスト教団扇町教会 福島YWCA 一般財団法人仙台YWCA 一般財団法人平塚YWCA 公益財団法人名古屋YWCA 松山YWCA 長崎YWCA
- 東日本震災被災者支援募金 帆足道子 清水嶋孝 山本鉄三 阿部有三 戸田照枝 和田崇子 東生野 吉野恵子 三股まさ子 西文字 青木恵子 仁木三智子 和田崇子 野田美由紀 古川道子 伊藤恭子 石塚多美子 阿部幸子 坂口和子 難波郁江 比企敦子 関むつみ 松川ゆか 山光光 野野田里 外山真理 杉本康雄 中村由里 川城丈夫 大野綾子 有田楠幸子 笛木直子 山内明子 愛智直行 二子石章 千葉萌 河口三千代

- 放浦 泉谷五十鈴 加納美津子 松下清子 安東勇 祖父江健一 関京子 伊藤信夫 今井多津子 福田公子
- 大阪女子院ヘール会 大森ルーテル教会付属幼稚園 ルーテル学院中学・高等学校 広島女子院中学高等学校 尚綱学院高等学校 尚綱学院高等学校 生徒教職員一同 シオン幼稚園 地球こくらぶ・善隣館 育成専門門学校 生徒教職員一同 玉川聖学院 福唄めぐみ幼稚園 福岡女子院中学校・高等学校 活水中学校・高等学校 沖縄キリスト教学院 大坂女子院中学校・高等学校 捜真女学校中学校・高等学校 捜真女学校中学校・高等学校 横濱共立学園 日本キリスト教団聖ヶ丘教会 東京平和教会駒込チャペル 捜真パプテスト教会 女性会

- 日本キリスト教団扇町教会 日本バプテテスト連盟日野神明キリスト教会 日本バプテテストキリスト教団白ヶ丘教会 日本キリスト改革派新座志木教会 日本キリスト教団千葉本町教会 日本キリスト教団ひばりが丘教会 日本キリスト教団西千葉教会 日本キリスト教団白鷺教会 0422キリスト教合同プログラム実行委員会 釧路YWCA 福島YWCA 一般財団法人平塚YWCA 公益財団法人神戸YWCA 長崎YWCA
- 日本YWCA指導者養成寄付金 静岡YWCA
- (2016年12月16日、2017年2月15日現在敬称略)

私とYWCA 「ガリ勉クラブ」受講生 糸坂佳恵
私は2015年の3月に中国の大連から来ました。数ヶ月後、毎週水曜日の授業の合間に日本語の補講を

受けに行き始めました。そのときに お世話になった先生がYWCAを紹介してくださいました。ガリ勉クラブに入ってから先生たちの助けで2016年4月に高校に入ることができました。現在高校1年生です。

外国人子ども 日本語教室 「ガリ勉クラブ」



製造業が盛んな愛知県では、定住する外国人労働者とその家族が多く、日本語支援を必要とする子どもの数が全国最多。これを受けて名古屋YWCAでは、2011年から、日本語を母国語としない小学校高学年から高校生までの子どもを対象に、日本語教室「ガリ勉クラブ」を開催している。同時に、日本語教師の養成にも力を入れている。



ガリ勉クラブに入った最初の頃は、ただ日本語を勉強しに行く場所という気持ちだけで通っていましたが、その気持ちは回数を重ねることにどんどん変わっていききました。なぜなら私と同じような境遇の仲間がそこにたくさんいたからです。こんなにうれしいのは私だけじゃないんだと思えるようになりました。それから日本語の勉強に対しても真面目に取り組みようになり、先生方の優しく丁寧なご指導のおかげで、いろいろな面に自信がもてるようになりました。また、YWCAで知り合ったインドネシア、ベトナム、ブラジル、中国などの多国籍の友達は今でも一番といていいぐらい心が通いあう友達です。ガリ勉でできた友達は何でも話せる大切な存在です。国籍や育った環境は違うけれど、そんなこと

にはこだわらないくらい熱い友情に出会えたのはYWCAがあったからだと思います。出会いというものには来るとは来なくても、自分が一歩踏み出した時に広がっていくものだと実感しています。もし、ここに来ていなかったら、こんな出会いもなかったと思うと感謝しかありません。日本に来てまだ2年足らずですが、今の高校生活が充実できているのは、私を支えてくれたYWCAの先生方と応援してくれた友だちの存在がとても大きいです。YWCAは私にとって温かなファミリーのような場所です。これからもこの場所で成長していきたいと思っています。私はこのYWCAが大好きです。(2017年スピーチコンテスト総合優勝者の作文) 原文ママ

発行所 公益財団法人日本YWCA 〒101-0062 千代田区神田駿河台1-8-11 東京YWCA会館302号室
Tel. 03-3292-6121 Fax.03-3292-6122 office-japan@ywca.or.jp www.ywca.or.jp
編集発行人 石井摩耶子/偶数月1日発行

旬な情報発信しています | メルマガ登録 y-net@ywca.or.jp | にお名前を送ってください / フェイスブック www.facebook.com/YWCAJapan
メールにてご意見・ご感想をお寄せください。今後の紙面づくりの参考にさせていただきます。 office-japan@ywca.or.jp 無断での複写・転用・転載はご遠慮ください。

存在と尊厳を回復する イエスの福音

このことは聖書の物語の中に示されていると私は確信しております。

イエスと弟子たちがとある町にやってくる時に、道端で物乞いをしてる目の不自由な人に気づきます。当時のユダヤの社会では、体が不自由であることや重い皮膚病を患うことは、その者、もしくは親など先祖が何か罪を犯し、その罰が現れるのだという誤った理解がありました。それゆえ彼らは「罪人」とされ徹底的に差別され、当時のユダヤにあったカースト制度の枠内にも入れられず、社会から疎外されていたのです。

ところがイエスは、「本人が罪を犯したからでも、両親が罪を犯したからでもない」と宣言した上で、この男に近寄り、触れられたのです。そして「シロアムの池に行つて目を洗いなさい」と言いました。聖書には「彼は行つて洗い、目が見えるようになって帰つて来た」と短く記されているだけですが、彼はイエスに促され、相当な時間をかけて自分の足でシロアムという池を探し出し、

目を洗つて、再びこの町に戻つてきたのです。

町の人々は、道端で物乞いをしてきた目の不自由な男のことはよく知つていました。けれども誰も話しかけようとはせず、ましてや触れようとはしなかった。関係を持とうとする者はただの一人もいませんでした。そんな彼が、今、目の前を、道の端ではなく、道の真ん中を堂々と歩いて帰つてきた。「あいつなのか」「いや似ているだけだ」。皆が驚き言葉を失う中で、彼は、このように宣言するのです。

「わたしがそうなのです」。

「わたしはここにいます」と 神の名を呼び求める

この言葉は、これまで人間としての尊厳を奪われ続け、また、自分など誰からも必要とされていないと自らも存在を否定していた彼が、自己の存在と尊厳を回復する宣言に他なりません。イエスの福音の本質はまさにここにあります。イエスの奇跡行為とは、本当に目が見えるようになったことよりも、その者の、奪わ

れ、破られていた尊厳と存在の回復を実現することに、最も重要な意味があります。この世に生きるすべての者が、ただの一人も捨て置かれることなく、「わたしがそうなのです」

「わたしはここにいます」「ここにいていいんだ」と宣言できる世界こそが、「神の国」の実現です。

新約聖書の原文はギリシャ語で書かれています。『わたしがそうなのです』にあたるのは、ego eimi。英語で、I amです。このego eimi という言葉は旧約聖書のモーセが神と出会う場面にも出てきます。モーセは神に向かい、あなたの名前は何かと問います。その時に、神がモーセに明かした名前こそが、ego eimi です。日本語の聖書では、「私はある。私はあるという者だ」となっています。

あの目の不自由だった男が宣言した「わたしがそうなのです」。I am は、実は「私はある」という神の名前であったのです。この彼自身は、まったく意識していなかったと思われませんが、彼は同時に神の名を宣言していたのです。エレミヤ書にも記されている通り、すべての者がただの一人も残らず神の名を呼び

じい村八分にいました。18歳だった姉は婚約が破談となり、家を出なければならなくなりました。小学生の弟は、声をかけてくれる友達さえいなくなりました。弟がある日、母の背中をたたきながら、「ぼく、病気でないよねえ」と泣き叫んだ姿を、

このまま家に入ればみんながだめになると思ひ、自分から市役所に申し出て、入所しました。それなのに、家族の苦難はやみませんでした。それから20年あまり、母が苦勞の果てに亡くなったときも、見舞いに行くことも、葬儀に参列して骨を拾うこともありませんでした。18歳の時、家を飛び出した姉は、生涯独身のまま、平成8年、らい予防法が廃止になった年の秋に自殺しました。姉の自殺は母の死以上に、私を打ちのめしました。

姉の思い。母の思い。いまだに配偶者に私のことを隠している弟、妹の思い。そのために、私は訴訟に立ちました。

判決の日、私は詩をつくりました。

太陽は輝いた

90年、長い暗闇の中

ひとすじの光が走った

鮮烈となって

硬い巖を砕き

光が走った

私はうつむかないでいい

市民のみなさんと光の中を

胸を張って歩ける

もう私はうつむかないでいい

太陽が輝いた

「もう私はうつむかないでいい」「光の中を胸を張って歩ける」。この言葉がまさに、ego eimi。「わたしはそうなのです」という人間としての尊厳、存在の回復宣言なのであり、それは同時に神の名前なのであります。

声なき声に気づく者を 生み育てる働き

私たちが旅する人生という小舟は、時に嵐にもまれて溺れそうになること、座礁してしまうようなことが起

求めることのできる世界、すなわち、誰一人として、自らの尊厳や存在を奪われることのない世界を実現することこそが、ヘブライ語で「シャールーム(平和)」と呼ばれる「神の国」を実現することなのです。

もう、私は うつむかないでいい

2001年5月、ハンセン病国家賠償請求訴訟の原告と当時の小泉首相が面会した、という出来事がありました。その際に、原告の一人、鹿児島県の日野弘毅さんは、このような証言をされました。

「昭和24年、16歳で入所して以来、ずっと療養所の中におります。私にも愛する家族がありました。

昭和22年の夏、突然保健所のジープがやって来ました。私を収容にきました。母はきつぱりと断つてくれました。ところが、ジープは繰り返しやってきました。昭和24年の春先、今度は白い予防着の医師がやってきて私を上半身裸にして診察したのです。その日から私の家はすさま



※1ヨハネによる福音書9章1～9節
※2出エジプト記3章

※2016年11月20日に開かれた第32回YWCA全国
会員総会の礼拝メッセージを再構成しました

ホンジュラスYWCA



アンドレア・ミシェル・グラディス・ディアズ
ホンジュラスYWCA運営委員、
世界YWCA副会長

決して飽きることのない
ダイナミックな運動

YWCAとは私にとって何かと考えると、ひと言では十分に表現できそうにありません。単なる「団体」ではなく楽しみであり、居場所であり、家族のようなものだからです。私はここで、人として、女性として成長し、社会に恩返しもできました。私は、若い女性が自身をエンパワーできるように導く機会をととても大切にしています。YWCAはダイナミックで、すべての人に開かれています。支援を必要とするところに手を差し伸べられる理想的な手段があります。こうした手段を若い女性に提供できることに、私は決して飽きないでしょう。

マラウイYWCA



ムティスンゲ・カチングウェ
マラウイYWCA会長

今までに行った
最良の選択の一つ

私は現在、マラウイYWCAで会長を務めています。私たちの活動は、性と生殖に関する健康と権利 (SRHR) に重点を置き、若い女性が生殖に関わる保健サービスや情報を十分に得られるよう取り組んでいます。2010年、大学生だった私は初めてYWCAに参加しました。それは、今までに行った最良の選択の一つでした。ここにいると、世界中に家族ができ、リーダーになることを学べます。それに、人を助ける活動をするだけで、人々の生活に大きな変化をもたらすだけでなく、私自身が謙虚になれ、感謝の気持ちが湧いてきます。

「変革をもたらす大胆な目標」を掲げて、国内外で新たなパートナーシップを構築し、地球規模でYWCA運動を発展させています。私は、女性の権利を促進するため、若い女性と少女に、重要な国際会議に参加する機会を提供することを誓います。世界が時速100kmの速さで変化していて、私た

ちの運動が時速5km、10kmまたは50kmのペースだったなら、世界とのズレは広がってしまいます。私たちの運動が影響力と意義を持ち続けるためには、深い思慮と迅速さが必要であり、皆さんの協力が不可欠です。私たちは今、YWCAとしても世界的にも、重大な歴史的局面を迎えています。人

種差別、女性蔑視、ユダヤ人やイスラム教への偏見、孤立主義といった潮流が強まる中、女性の権利が大きく後退する危機にも直面しています。世界がYWCAを必要としており、私たちは共に強く立つべきです。このような時にあって、世界YWCAは日本YWCAとの強固な連帯に感謝してい

ます。毎夏、高校生平和大使を送り、世界YWCA総会では原子力エネルギーと核兵器に関する決議案を提出するなど、平和と安全に関する日本YWCAの継続的な活動は、非常に重要です。今後、話し合いの時を持ち、皆さんの働きと考えをより深く理解したいと願っています。

若いメンバーに聞いた "私とYWCA" Voice

パレスチナYWCA



マヤダ・タラズィ
パレスチナYWCA職員

正義の実現をめざす
大きな世界運動の一部

私はエルサレムに住むパレスチナ人です。YWCAの職業訓練センター卒業後、その事務補助スタッフになりました。ノルウェーYWCA/YMCAとの交流プログラムでは国際的な環境でインターンを務めたことで、人生が変わる経験をしました。今はパレスチナYWCAのユース・コーディネーターとして、平和と正義のために活動する若い女性たちの持続的なネットワークの構築を試みています。ここは私にとって第2の家。国内外のメンバーに出会うたびに「特別な何か」を感じます。私たちは正義の実現に向けて活動する、大きな世界運動の一部なのです。

アオテアロア・ニュージーランドYWCA



ニヴィディサ・シャラット・チャンドラン
アオテアロア・ニュージーランドYWCA共同会長、
世界YWCA副会長

若い女性たちを支援して
運動の中心に送り出す

YWCAは「若い女性に焦点を当てた、世代を超えた運動」です。こんな団体は世界でも他にありません。若い女性は、重要な決定をする際に無視されることが多いのですが、YWCAは、その支援者かつメンターとなって、常に彼女たちを運動の中心に位置付けてきました。だからこそYWCAは、私の心の中でとても大きな存在なのです。13歳のときに地元オークランドYWCAのリーダーシッププログラムに参加して感銘を受けた私は、団体に恩返ししがたくて運営委員になりました。2013年には、歴代最年少の23歳で、現在の共同会長に選ばれました。

世界に広がるYWCA

世界YWCAは、すべての女性の尊厳が守られる、平和な世界の実現をめざしている国際的なNGOです。現在、2500万人の女性と少女が力を合わせ、120カ国以上で活動しています。4月24日の世界YWCAデーにちなみ、世界のYWCAにクローズアップしました。



WorldYWCA



日本のYWCAのみならず
世界に変革をもたらす
リーダーシップを実現させましょう



世界YWCA新総幹事
マラヤ・ハーパー
Malahar Harper

どんな女性や少女も「置き去りに」しない

世界中に広範なネットワークと拠点をもち、優れた形で「有言実行」してきた

YWCA運動に、新しく総幹事として関わることができて嬉しく思います。私たちの運動で最も重要なものは、若い女性のリーダーシップの実現です。世界YWCA運営委員の60%が30歳以下の女性ですが、これは真に若い女性による若い女性のための運動といえます。また、YWCAは世代を越えたリーダーシップの実現に向けて、様々な世代が互いに学び合い、多様なスキル、知識、経験を生かすことを特徴としています。現在最も緊迫した課題、たとえば紛争下で、強制的な移動や移住、女性に対する

暴力、児童婚、人種差別といった課題に取り組むYWCAもあります。私たちは、すべての人間を等しく尊重するキリスト教の考え方に基づき、すべての人に開かれた運動として、どんな女性や少女も「置き去りに」しないことを保証します。そこには、貧困や人種、性的指向、信仰、HIVの有無、社会的地位により複合的な差別を受け、周辺に追いやられた人々も含まれます。深い思慮と迅速な行動、みんなのチカラが必要、世界YWCAは国連で毎年行われる「女性の地位委員会 (CVS)」にも参加しています。国連の「持続可能な開発目標 (SDGs)」は、ジェンダー平等を達成するために大変重要なものです。YWCAも

教えて！

世界YWCAの
A B C

若い人から寄せられる「よくある質問」に、わかりやすく回答します。

Q 何をしているNGOなの？

世界YWCAの活動をひと言で表現するのは難しいですが、強いて言えば「若い女性のリーダーシップの養成と推進」です。

Q なぜリーダーシップなの？

暴力や貧困、飢餓、劣悪な保健状態に最もさらされ、弱くされているのが若い女性たちです。しかし彼女たちこそ、大きな可能性と力を持っています。すべての人の人権が守られる平和な世界をつくるためには、若い女性たちがリーダーシップをもって変革を担う必要があるのです。

Q 具体的な取り組みは？

2035年までに、1億人の女性と少女に届く運動を展開して、不平等の原因にメスを入れ、若い女性たち自身の力による権力構造の変革をめざしています。具体的には、性と生殖に関する健康と権利、HIV、女性に対する暴力などの問題に対して、支援・アドボカシー活動を行うことを優先課題としています。

Q 国連と関係があるの？

世界YWCAは国連の経済社会理事会の諮問機関です。女性や人権に関する会議などで発言する権利があります。

※世界YWCA「2035年に向けた共通目標」
「2016年～2019年の主要な優先課題」より



嘉手納基地周辺には米軍関係者の家族が住むエリアがある。基地の中に沖縄があるようだ

私は東京で生まれ鹿児島で育ちました。3年前、沖縄の現状を伝えるために日本中を講演して回っていた若者（現在の夫）と出会わなければ、沖縄が「終戦」以降も今に至るまで準戦状態に置かれていることに気が付かなかったでしょう。マスコミが沖縄の事実を報じないとはいえず、沖縄に対してあまりにも無関心・無関心であった自分を恥じました。

沖縄の現実に ずっと無知・無関心だった

本土の友に伝えたい
移住者がみた沖縄のリアル

若い世代を中心に沖縄の問題に無知・無関心な人が少なくない。そこで、沖縄に移住して一年になるYWCA会員に、見聞きし、感じたことを、若い友人に伝えるつもりで書いていただいた。移住者の目線で伝える沖縄のリアルを分かち合おう。



私が住む沖縄本島は、南部と北部で自然が大きく異なります。南部はガマが多くあるように、石灰岩、サンゴが隆起した土地です。北部は「やんばる（山原）」と呼ばれる豊かな森が広がり、独自の進化を遂げてきた、多様な生物の生息地です。世界でもここだけに生息する固有種が少なくとも66種類いるとの報告もあります。オスプレイ・ヘリパッド建設で揺れた高江一帯は世界でも希少な亜熱帯降雨林です。建設場所には、22種類の固有種が確認

稀少な生態系を守り、 文化を育む豊かな島

本土では「基地反対派は過激で怖い」という印象もあるようです。たしかに抗議行動のイメージは、プロテストアクションに慣れない日本人には誤解を与えるかもしれません。機動隊と取っ組み合ったり、激しいシュプレヒコールをあげたりすることもありますが、それが抗議行動の真髄ではありません。自分たちが受けてきた仕打ちの経験から、力で押さ

生活の中で地道に続ける 一般市民のアクション

沖縄は、もとは独立した国・琉球として豊かな文化を築き、巧みな外交手腕によって武力に頼らず平和な国を作り上げました。しかし、その後の日本による琉球制圧の歴史を振り返ると、沖縄に対する差別は今に始まったことではないとわかります。さらに日本と米軍による植民地支配がまた続いていることが浮かび上がります。



お金をもらっても「やんばる」の森は買えない

「本土の人にもっと沖縄を知ってもらえるような冊子をつくらう」と試行錯誤を続ける人々や「日本の民主主義を取り戻す戦いを、沖縄が先頭を切ってやっつけて」と誇りをもち座り込みをする市民にも出会いました。

誰かの犠牲の上に成り立つ平和ではなく、みんなの手を取り合って作っていく平和、誰もが安心・安全に暮らせる社会、違いがあっても互いを尊重し合える世界。それが沖縄の願いです。

これを書いている間も、頭上を米軍機が轟音をたてて飛んでいます。命を殺すのではなく生かす、希望に満ちた社会を目指して、沖縄の非暴力による平和構築の歩みは続きます。

沖縄YWCA会員 國分美生



毎週金曜日に行われる基地建設反対のスタンディングアクション

スコットランドYWCAの新しい取り組み

若い女性たちの運動

スコットランドYWCAは、「Young Women's Movement (若い女性たちの運動)」として自らをブランド化した。デジタル・ソーシャルネットワークを媒介にしたこの取り組みは、若い女性たちをつなぎ、変革を起こし始めている。



■「安全な居場所」モデルと 二大プロジェクトを展開

スコットランドYWCAは、世界運動を始めたYWCAの一つです。1855年に発足して以来、160年以上にわたって、スコットランドの女性と少女の生活向上のために活動してきました。2014年、スコットランドYWCAの運営委員会は、メンバーの25%以上が30歳以下の若い女性となり、新たに「5カ年発展計画」を発表しました。

この計画の3年目、スコットランドYWCAは自らを新たに「Young Women's Movement (若い女性たちの運動)」としてブランド化し、新しいウェブサイト立ち上げ、ジェンダー平等を追求した「安全な居場所」のモデルを全国の学校やグループに広めています。さらに、二つのプロジェクトを始めました。

一つは、「スコットランドの若い女性の地位に関する調査」です。これまで「若い女性」としてひとくりにされていた女性たちの、個別的で多様な経験に光を当てるため、16歳から30歳の女性たちにインタビューやグループ対話を行っています。彼女たちが語る様々な個別的・内的経験を通して、社会に横たわる様々な課題が浮き彫りになっています。もう一つは、「#FeministFest」というもので、年齢も地域も多様な30人超の女性たちが、エディンバラ・フェスティバル・フリッジ*で催される演目をフェミニスト視点で鑑賞し、議論や批評をブログに掲

載しています。時には、フリッジに関わる興味深い女性たちにインタビューを行うこともあります。



スコットランドYWCA総幹事カラ・ブラウン

■新しいメディアと 史上最年少の総幹事

2016年、史上最年少の総幹事として、カラ・ブラウンが任命されました。カラは2014年にボランティアとして初めて参加し、8カ月後にはYWCAのリーダーシップ・チームに参加しました。30歳以下の最高責任者をもつ国内でも数少ない団体の一つであるスコットランドYWCAが「Young Women's Movement」を通して、若い女性のリーダーシップを実際に推進しているのは誇らしいことです。私たちのビジョンは、YWCAが世界中の若い女性の意見交換を推進する場になることです。また、ソーシャルメディアやデジタルメディアを通して若い女性たちがつながり、刺激とひらめきを得る中で、暴力、政治、性、恋愛といった自分たちの経験における負の側面やタブーを乗り越えていけるようになることです。

■「読み手」を想定した デジタル発信で会員増加

私たち若い女性は、一人ひとり多様なのに、多くの場合、それぞれが傾聴され尊重されることなく、一方的に話を聞かされたり話題の対象とされたりするだけです。スコットランドYWCAに連なる私たち、そして世界のYWCAは、それを変えたいと願っているのです。

スコットランドYWCAは、1000人以上の会員を持つナショナルYWCAです。すべての活動の中心に、デジタルメディアとソーシャルメディアがあります。若い女性のほか、有識者、政策立案者、政治家、寄付者といった人々を「読み手」として想定したデジタル発信により、会員が増えています。またジェンダーと平等を追求するYWCAの「安全な居場所」モデルの需要も増大しています。



ソーシャルネットワークを通じた呼びかけに応じて、調査に協力した女性たち

スコットランド YWCAウェブサイト

www.ywascotland.org

SNSアカウント

@youngwomenscot
Instagram, Twitter,
Facebook, LinkedInで
フォローできます



*エディンバラで毎年8月に開かれる世界最大の芸術祭。プログラムは公演作品が中心で、プロアマ問わず誰でも参加できるため、過激な演目や前衛的なパフォーマンスも多い。